

## 2023年度

### 二チキッズ長岡天神保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月17日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子ども達の心情・意欲が保育理念である「おもいっきり」につながる活動が多くできた。今後もありのままの自分を表現し、自分らしくいられる場所は子ども達にとって「最高の居場所」であることを意識していきたい。
子どもの発達援助	年間を通して異年齢の関わりを行い、常に「あこがれ」の存在が身近かに感じられたことが発達を促す要因となったと思う。また、視覚を意識した関わりの中でイメージしやすい事が活動の源となった。
保護者に対する支援	毎日の送迎の中でコミュニケーションを大切にし、複数の先生との関わりを自然に出来る環境を心がけた。また、園行事では保護者の参加がしやすいような環境設定を行い、大勢の保護者との関わりをもてた。
保育を支える組織的基盤	「人権」を基本とする関わりの中で「自分がされて嫌な事」は「不適切に関わる事」を合言葉とし保育を見直しながら年間を通して取り組むことが出来た。

総評
子ども自身が自分で選択できる環境を提供し続けたことで「参加する権利」を保障する事ができた。遊びたい場所・一緒にいたい人を自分で選ぶ事は「子どもの権利」でもあり、選び取る経験が積み重なり、子ども達の表現の自由や物事に対する意欲にもつながったと思う。また、保護者支援では保護者に寄り添いSOSが出にくい保護者にも相談しやすい環境を意識し、子育ては「一人でするものではない」というメッセージを伝え続けた。現在の社会状況も鑑み、子どもの存在をパワーに変えるという気持ちの変換の仕方と一緒に考えることで、家庭での子どもの環境が良好になるように今後もサポート出来る場所であり続けたい。